

# 平成 19 年 度

## 東京大学気候システム研究センター 【共同研究】公募要領

### 1. 公募事項

公募する共同研究は、センター外の個人またはグループの研究者とセンターの教員が協力し、主として大型計算機を用いて研究を行うもので以下の2つの形態があります。

#### (1) 特定共同研究

本センターが提案して計画的に推進する研究計画で、センター内の研究グループとセンター外の研究者が協力して進める共同研究。

#### (2) 一般共同研究

一般公募によるもので、センター外の個人またはグループが提案する研究テーマについて、センター内外の研究者が協力して進める共同研究で本センターの研究目的に貢献が期待できるもの。

### 2. 申請資格者

国・公・私立大学及び国・公立研究機関の研究者、またはこれらに準ずる研究者並びに本センター長が適当と認めた者。

### 3. 申請方法

#### (1) 特定共同研究

「1 1. 特定共同研究課題及び担当者」に示す特定共同研究に参加を希望する場合は、「特定共同研究申請書」(別紙様式1) 1通を東京大学気候システム研究センター長あてに提出して下さい。

#### (2) 一般共同研究

一般共同研究の申請に当っては、代表者を定め「一般共同研究申請書」(別紙様式2) 1通を東京大学気候システム研究センター長あてに提出して下さい。  
( (1)、(2)とも別添様式をコピーして使用して下さい。また、スペースが足りない場合、申請者において同様の形式で作成されたものでも結構です。)

#### ※共同研究経過報告書

共同研究を継続申請する研究者は継続申請と同時に「共同研究経過報告書」(別紙様式3)を平成19年1月31日(水)までに提出して下さい。

なお、前年度に採択された同一研究者が研究テーマを新規で申請する場合も同様に「共同研究経過報告書」を提出して下さい。

### 4. 共同研究期間

平成19年4月1日から平成20年3月31日までの期間

(継続して共同研究を行うものについても、年度ごとに申請を受け採否を決定します。次年度は平成19年12月に公募し、平成20年4月から共同研究開始の予定です。)

### 5. 申請期限

平成19年1月31日(水)

## 6. 提出先

〒277-8568 千葉県柏市柏の葉5-1-5 総合研究棟  
東京大学柏地区センター支援グループ気付  
気候システム研究センター共同研究担当  
Tel 04-7136-4430

## 7. 採否

共同研究の採否は、運営委員会において審査し協議会の承認を得てセンター長が決定します。平成19年3月下旬に採否の決定を行ない、その結果は、センター長から申請代表者に通知します。申請が採択された場合、研究代表者はグループ内の他機関所属研究者の「共同研究承諾書」(別紙様式4)を取りまとめ「6. 提出先」あてに提出して下さい。

## 8. 所要経費

### 8.1 大型計算機利用

大型計算機の利用は東京大学情報基盤センターのスーパーコンピュータのみに限ることになります。

- (1) 東京大学情報基盤センターの「大型計算機利用負担金」を予算の範囲内において本センターで負担します。
- (2) 「大型計算機利用負担金」は共同研究者の所属する研究機関へ直接配分は致しません。「計算機利用申請書」の「支払責任者」「経理責任者」の名義を本センターとし、本センターから東京大学情報基盤センターに移算することになります。
- (3) 申請書(別紙様式1, 2)にはCPU時間\*を記入して下さい。

【\*共同研究でご使用頂ける東京大学情報基盤センターの計算機は2007年4月よりSR8000/MPPからSR11000/J1に変わりますが、ここでは現行SR8000/MPPの1ノード(8CPU)で計算した場合の数値を記入してください。(SR8000/MPPシステムの課金情報は、CPU毎の時間が加算されるため、ここで言う「CPU時間」の8倍が表示されます。)実際のCPU時間割り当ては2007年4月以降に計算機変更の事情を考慮しつつ行います。

CPU時間の上限は資源の効率的使用のため一応設けます。柔軟な運用につとめますが、度々変更があると管理作業が繁雑になりますので、計画的に申請してください。(1ノードの使用可能時間は年間約7000時間です)】

- (4) 共同研究で大型計算機を使用できる期間は平成20年3月末日までとなります。

### 8.2 旅費

共同研究で本センターに来所するために必要とする旅費については、申請にもとづき決定した予算の範囲内で支給します。

### 8.3 消耗品

本センターに来所し、「気候システム研究装置」を使用する場合に必要な消耗品(磁気テープ、フロッピー、用紙等)については、申請にもとづき決定した予算の範囲内において、本センターに準備します。

## 9. 研究装置

本センターには複数のワークステーション群からなる「気候システム研究装置」(別添資料参考)を設置しています。

通常の研究業務に支障とならない範囲内で使用することができます。

#### 10. 共同研究報告書

- (1) 共同研究の代表者は、「共同研究報告書」(別紙様式5)1通を、平成20年3月31日までに「6. 提出先」あてに提出して下さい。
- (2) 共同研究の成果について論文等を印刷物として公表したいときは、その別刷またはコピー2部を「6. 提出先」あてに提出して下さい。
- (3) 共同研究の成果について論文を発表する場合は、当該論文の謝辞に本センターの共同研究による旨を付記されることを希望します。

1 1. 特定共同研究課題及び担当者

課 題	担当教員
統合気候・環境モデルの素過程モデル・モジュールの開発	気候システム 研究センター 全教員
高分解能大気モデル及び領域型気候モデルの開発	木本 昌秀
化学輸送モデルの開発と数値実験	高橋 正明
気候モデルにおける力学過程の研究及び惑星大気大循環モデルの開発	高橋 正明
世界海洋大循環モデルの相互比較	遠藤 昌宏
海洋モデルにおけるサブグリット現象のパラメータ化	遠藤 昌宏
人工衛星とモデルによる放射収支及び雲パラメータの評価・大気粒子の生成過程のモデリング	中島 映至
気候モデル及び観測データを用いた気候変動とその予測可能性の研究	木本 昌秀
大気モデルにおけるパラメタゼーションの研究	木本 昌秀
TRMM（熱帯降雨観測計画）衛星データ及び雲解像モデルによる熱帯降雨特性の研究	高 藪 縁
衛星データと数値モデルの複合利用による温室効果気体の解析	今 須 良一
全球雲解像モデルの開発及びデータ解析	佐藤 正樹
気候モデルを用いた古気候・古環境研究	阿部 彩子

1 2. 添付書類

一般共同研究担当教員一覧

気候システム研究装置概要

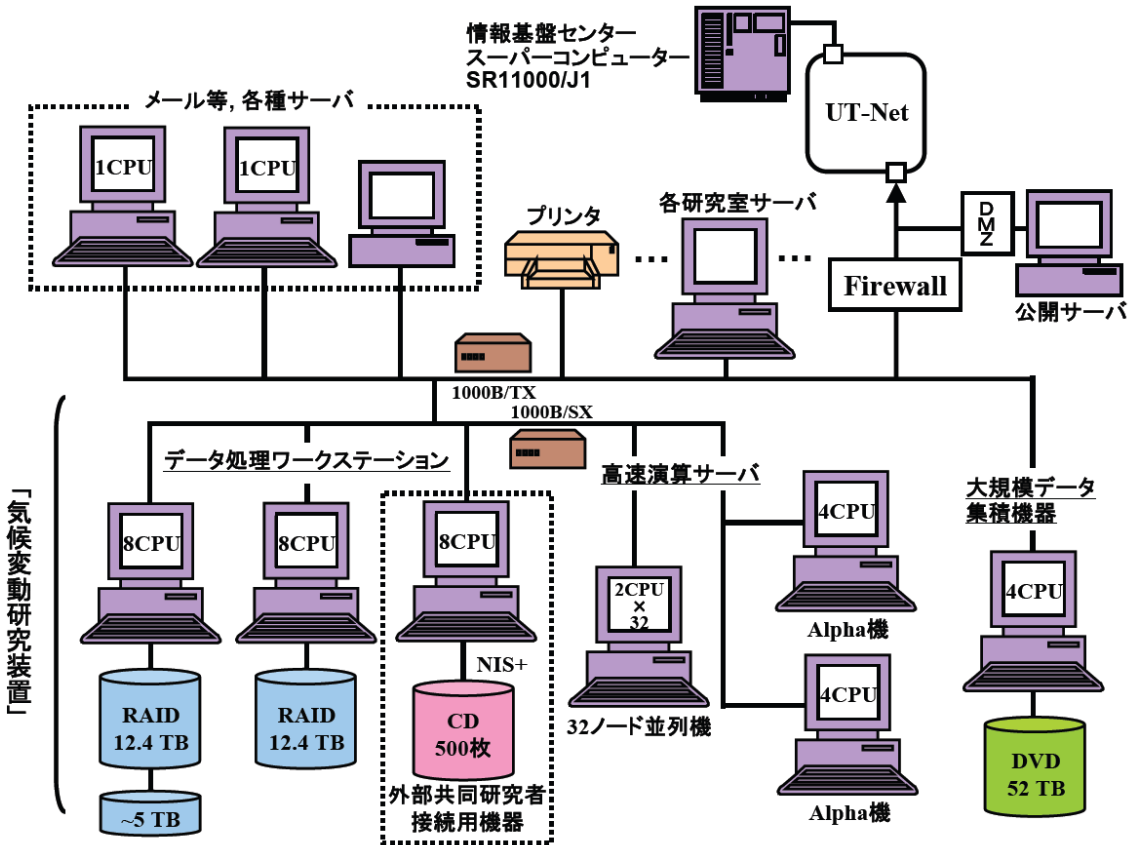
平成18年度 [共同研究] 採択一覧

## 一般共同研究担当教員一覧

氏 名	職	専 門 分 野 ・ 研 究 テ ー マ
遠藤 昌宏	教 授	1. 世界海洋循環モデルの開発 2. 海洋モデルにおける物理過程の改良
中島 映至	教 授	1. 放射収支のモデリング 2. 人工衛星による気候研究 3. エアロゾルモデル, 雲微物理モデルの開発
高橋 正明	教 授	1. 大気大循環モデルを用いた気候変動の力学過程の研究 2. 大気大循環化学モデルの開発 3. 惑星大気大循環モデルの開発 4. 対流圏・成層圏の波動力学
木本 昌秀	教 授	1. 大気海洋結合系のモデリング 2. 気候変動のデータ解析とモデリング 3. 大気・海洋の予測可能性研究 4. 4次元データ同化
今須 良一	助 教 授	1. 温室効果気体のリモートセンシングデータ解析手法の開発 2. 人為起源物質による気候変動と温暖化現象のモデル化 3. 大気微量成分のソース・シンクインバージョン
高藪 縁	助 教 授	1. TRMM (熱帯降雨観測衛星) データを用いた研究 2. 熱帯気候システムにおけるマルチスケール相互作用の研究
羽角 博康	助 教 授	1. 大気-海洋-海氷結合モデリング 2. 海洋物質環境モデリング
阿部 彩子	助 教 授	1. 大気海洋結合モデル、氷床モデル 2. 古気候モデリング
佐藤 正樹	助 教 授	1. 大気大循環力学 2. 大気大循環・雲解像モデリング 3. 雲解像モデルによる気候研究

# 気候システム研究装置概要

気候システム研究装置は、下の図に示されているようにいくつかの役割を分担するワークステーション及びその周辺機器より成り立っています。



(別紙様式1)

平成 19 年 度

東京大学気候システム研究センター  
「特定共同研究」申請書

平成 年 月 日

東京大学  
気候システム研究センター長 殿

申請者 (代表者)

所属機関 \_\_\_\_\_  
官 職 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_

(自筆の場合 押印不必要)

下記により共同研究を実施したいので申請します。

記

1. 特定共同研究課題 及び担当教員						
2. 分担課題						
3. 研究期間	平成 年 月～平成 年 月					
4. 研究組織	氏 名	所 属	職 名 等			
5. 必要経費						
計算機使用料	東京大学情報基盤センター		時 間			
	使用 CPU 時間					
旅 費	官 職	氏 名	期 間	回数	金 額	時 期
			泊 日			月
消耗品費	品 名 等	数 量	単 価	金 額	備 考	



6. 共同研究継続希望の有無
有 有の場合 平成 年 月まで 無
7. 研究分担及び研究計画 (研究分担)
(研究計画)
8. 期待される成果

上記共同研究を東京大学気候システム研究センターに申請することを承諾します。

平成 年 月 日

所属機関長

職印

(別紙様式2)

平成 19 年 度

東京大学気候システム研究センター  
「一般共同研究」申請書

平成 年 月 日

東京大学  
気候システム研究センター長 殿

申請者 (代表者)

所属機関 \_\_\_\_\_

官 職 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

(自筆の場合 押印不必要)

下記により共同研究を実施したいので申請します。

記

1. 研究課題						
2. 研究期間	平成 年 月～平成 年 月					
3. 研究組織	氏 名	所 属	職 名 等			
4. センター内 教 員						
5. 必要経費						
計算機使用料	東京大学情報基盤センター					
	使用 CPU 時間		時 間			
旅 費	官 職	氏 名	期 間	回数	金 額	時 期
			泊 日			月
消耗品費	品 名 等	数 量	単 価	金 額		備 考

6. 共同研究継続希望の有無
有 有の場合 平成 年 月まで 無
7. 研究分担及び研究計画 (研究分担)
(研究計画)
8. 期待される成果

上記共同研究を東京大学気候システム研究センターに申請することを承諾します。

平成 年 月 日

所属機関長

職印

(別紙様式3)

東京大学気候システム研究センター「共同研究」経過報告書

平成 年 月 日

東京大学

気候システム研究センター長 殿

共同研究代表者

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

1. 研究課題

2. 本年度研究成果の概要

(別紙様式4)

## 共同研究承諾書

研究代表者

所属機関

官 職

氏 名

殿

1. 研究課題

2. 共同研究者

氏 名	職 名 等	所 属	備 考

上記の者が東京大学気候システム研究センターとの共同研究に参加することを承諾します。

平成 年 月 日

所属機関長

職印

## 東京大学気候システム研究センター「共同研究」報告書作成要領

1. 報告書の「別紙」は、「共同研究報告書」としてそのまま印刷しますので、作成にあたっては次の事項に留意して下さい。

- (1) ワードプロ又はタイプを使用して下さい。
- (2) 用紙サイズはA4判とし、37字×30行(12ポイント)程度で濃い目に印字して下さい。
- (3) 提出枚数は、図表等を含めて3～4枚程度にして下さい。
- (4) 共同研究報告書は次の順序で作成して下さい。

特定共同研究課題名  
分担課題名  
研究課題名  
共同研究者名(所属を含む)  
研究目的  
研究内容  
研究成果  
今後の問題点

2. 「共同研究報告書」の配布

印刷後、大学等主要な研究機関に配布を予定しております。

3. 共同研究に関する資料、別刷等がありましたら添付して下さい。

(別紙様式5)

東京大学気候システム研究センター「共同研究」報告書

平成 年 月 日

東京大学

気候システム研究センター長 殿

申請者 (代表者)

所属機関 \_\_\_\_\_

官 職 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

下記の共同研究について別紙のとおり報告します。

記

1. 研究課題

2. 共同研究者

氏 名	所 属	備 考